

看護技術各論

[講義] 第2学年 前期 必修 1単位

《担当者名》 明野 伸次 akeno@hoku-iryu-u.ac.jp 横川 亜希子

【概要】

対象者のハイレベルのウエルネスを維持、促進、回復するための看護学的方略を理解し、看護過程の概念および基本的ニードを充足する援助方法について学習する。

【学修目標】

1. 看護者が行うフィジカルアセスメントの目的と基本技法を用いた観察技術を理解する。
2. 看護過程におけるアセスメントの目的と方法を理解する。
3. 看護過程の概念を理解し、基本的ニードを充足する援助方法について考察する。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|-----------------|----------------------------|-----|
| 1 | 1. 看護過程（アセスメント） | 1) 看護アセスメントの目的 | 横川 |
| 2 | 1. 看護過程（アセスメント） | 2) 看護アセスメントの方法 | 横川 |
| 3 | 1. 看護過程（アセスメント） | 3) 目的意識的な情報収集 | 横川 |
| 4 | 1. 看護過程（アセスメント） | 4) フィジカルアセスメントのガイドラインと基本技法 | 明野 |
| 5 | 1. 看護過程（アセスメント） | 5) バイタルサインズの測定とその活用 | 明野 |
| 6 | 1. 看護過程（アセスメント） | 6) 身体各部の系統的アセスメント | 明野 |
| 7 | 1. 看護過程（アセスメント） | 7) 情報の分析解釈 | 横川 |
| 8 | 2. 活動・運動 | 1) 活動・運動の意義と目的 | 横川 |
| 9 | 2. 活動・運動 | 2) 活動・運動ニードのアセスメント | 横川 |
| 10 | 2. 活動・運動 | 3) 活動・運動のニードを充足する方法 | 横川 |
| 11 | 3. 清潔 | 1) 清潔の意義と目的 | 横川 |
| 12 | 3. 清潔 | 2) 清潔ニードのアセスメント | 横川 |
| 13 | 3. 清潔 | 3) 清潔ニードを充足する方法 | 横川 |
| 14 | 4. 睡眠・休息 | 1) 睡眠・休息の意義と目的 | 横川 |
| 15 | 4. 睡眠・休息 | 2) 睡眠・休息ニードのアセスメントと充足する方法 | 横川 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

筆記試験100%

【教科書】

- 1) 宮脇美保子編：基礎看護学 看護学概論 第4版. メヂカルフレンド社, 2017.
- 2) 深井喜代子他：基礎看護学 基礎看護技術 第5版. メヂカルフレンド社, 2017
- 3) 深井喜代子他：基礎看護学 基礎看護技術 第4版. メヂカルフレンド社, 2017.
- 4) 三上れつ, 小松万喜子, 小林正弘編：ヘルスアセスメント 臨床実践能力を高める 改訂第2版. 南江堂, 2017.
- 5) 香春知永, 斎藤やよい編：基礎看護技術 看護過程の中で技術を理解する 改訂第3版. 南江堂, 2018.
- 6) 吉田みつ子, 本庄恵子監修：写真でわかる基礎看護技術 アドバンス. インターメディカ, 2016.
- 7) 野中廣志：看護に役立つ検査事典 新版. 照林社, 2015.

【参考書】

- 1) V.ヘンダーソン, 湯檜ます他訳：看護の基本となるもの 再新装版. 日本看護協会出版会, 2016.
- 2) E.ウェーナー他, 池田明子訳：コミュニケーション 効果的な看護を展開する鍵 新装版. 日本看護協会出版会, 2007.
- 3) F.ナッシュール 湯檜ます他訳：看護覚え書 改訳第7版. 現代社, 2011.

4) R.アルファロ, 本郷久美子監訳: 基本から学ぶ看護過程と看護診断 第7版. 医学書院, 2012.

【備考】

- ・具体的な学習内容に関しては、テーマごとに学習要項・授業資料を事前に配付する。
- ・授業の出席確認やフィードバックシート(質疑・意見等)は、Google Formsを活用する。

【学修の準備】

- ・学習要項に示されたテキストの関連箇所を熟読する。
- ・授業資料を熟読する。
- ・ワークシート課題がある場合は、必要な内容を記入し提出する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2、1

【実務経験】

明野 伸次(看護師) 横川 亜希子(看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

病院での看護師としての実務経験に基づき、看護過程の概念および基本的ニードを充足する援助方法に関する講義をする。